

令和2年度

浜松市四大地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

浜 松 市 監 査 委 員

浜 監 第 55-2 号

令和 3 年 10 月 7 日

浜松市長 鈴木康友様

浜松市監査委員 川嶋朗夫

浜松市監査委員 佐藤雅秀

浜松市監査委員 鳥井徳孝

浜松市監査委員 鈴木育男

決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 2 年度四大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和2年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	1
第1 審査の基準	1
第2 審査の対象	1
第3 審査の期間	1
第4 審査の着眼点及び実施内容	1
第5 審査の結果	1
第6 決算状況	2
1 決算収支	2
2 決算の計数	2
3 歳入	2
4 歳出	3
第7 財産管理の状況	3
1 公有財産	3
2 基金	3

凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

令和2年度 浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

第2 審査の対象

令和2年度浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第3 審査の期間

令和3年7月1日から同年8月20日まで

第4 審査の着眼点及び実施内容

2年度浜松市四大地財産区特別会計の歳入歳出決算について、

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

を着眼点とし、検証した。

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

第5 審査の結果

審査に付された浜松市四大地財産区特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に適合し、かつ、その計数はいずれも正確で、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

第6 決算状況

1 決算収支

決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2年度	元年度	増減額	対前年度比
歳入決算額 (A)	50,524	48,613	1,911	103.9
歳出決算額 (B)	17,845	19,366	△ 1,521	92.1
歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	32,678	29,246	3,432	111.7
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支 (C)-(D) (E)	32,678	29,246	3,432	111.7
前年度実質収支 (F)	29,246	27,405	1,841	106.7
単年度収支 (E)-(F)	3,432	1,841	1,591	186.4

歳入決算額は5,052万円、歳出決算額は1,784万円となっている。実質収支は、3,267万円の黒字で、元年度に比べて、343万円(11.7%)増加している。また、単年度収支は、343万円の黒字である。

2 決算の計数

令和3年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金3,267万円で、2年度の歳入歳出差引額と合致する。

3 歳入

歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2年度	元年度	増減額	対前年度比
財産収入	21,277	21,207	69	100.3
財産運用収入	21,257	21,202	54	100.3
財産売却収入	20	5	15	400.0
繰越金	29,246	27,405	1,841	106.7
諸収入	0	0	0	—
合 計	50,524	48,613	1,911	103.9

歳入は5,052万円で、元年度に比べて、191万円(3.9%)増加している。主として繰越金184万円の増加によるものである。

4 歳出

歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	2 年度	元年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	932	1,050	△ 118	88.8
議 員 報 酬	331	225	105	147.1
視 察 研 修 費	0	774	△ 774	0.0
議 長 交 際 費	4	3	1	133.3
一 般 諸 経 費	597	47	549	1,270.2
総 務 費	16,913	18,316	△ 1,402	92.3
一 般 管 理 費	1,564	1,130	434	138.4
財 産 管 理 費	15,348	17,185	△ 1,836	89.3
合 計	17,845	19,366	△ 1,521	92.1

歳出は1,784万円で、元年度に比べて、152万円(7.9%)減少している。主として財産管理費183万円の減少によるものである。

第7 財産管理の状況

財産現在高

区 分			2 年度末現在高	元年度末現在高	増 減 高	
公有財産	建 物	面 積 (㎡)	381.75	381.75	0.00	
	山 林	所 有	面 積 (㎡)	1,411,636.83	1,411,636.83	0.00
			立 木 (m ³)	7,403.69	7,287.20	116.49
基金	現 金	積 立 基 金 (千円)	257,440	253,940	3,500	

1 公有財産

(1) 建物

建物の面積は2年度末現在381.75㎡で、元年度末と同じである。

(2) 山林

山林の面積は2年度末現在141万1,636.83㎡で、元年度末と同じである。立木の推定蓄積量は2年度末現在7,403.69m³で、元年度末に比べて、116.49m³増加している。

これは自然成長によるものである。

2 基金

四大地財産区基金の現金は2年度末現在2億5,744万円で、元年度末に比べて、350万円増加している。これは元金積立によるものである。